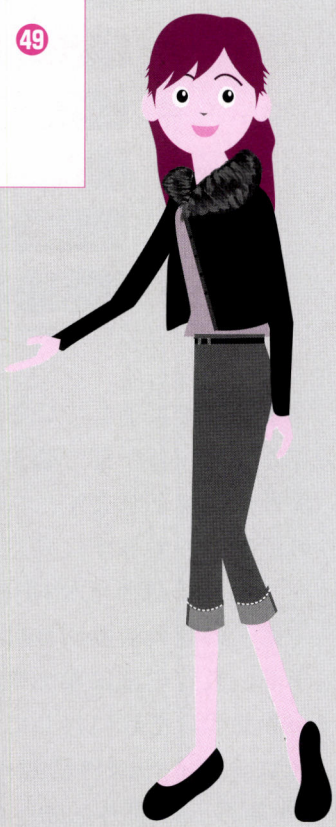
4 課外活動について

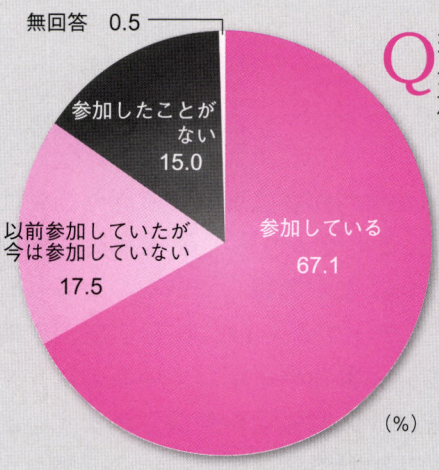
課外活動への参加状況…… 42
学部学生の約85%が参加経験をもつ
参加している課外活動団体のジャンルは、勉強している学問分野や希望する卒業後の進路との近接性を示している

課外活動と学生生活…… 44
課外活動の経験は学生生活の充実度や大学への愛着度と結びつく
課外活動への参加者は、相対的に授業への関心が薄くなる傾向にある

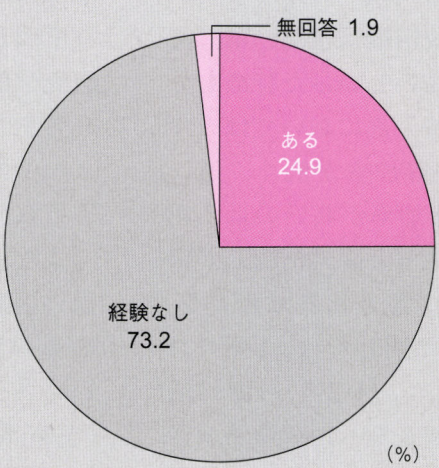
課外活動と学業との両立／課外活動に参加しない理由…… 47
課外活動を行う学生にとって、学業との両立は大きな課題
多くの学生にとって学業との両立可能性において課外活動への参加が判断されている

早大生のボランティア事情…… 49
学年が上がるにしたがってボランティア経験者は増えていくが、まだまだ少ない!?
ボランティア経験をもつのは女性で3割、男性で2割





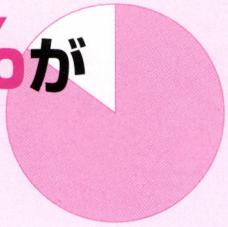
Q 現在、体育各部サークル活動（学内外不問）等、何らかの課外活動に参加していますか？（学部）



Q 大学生になってからボランティア活動に参加したことがありますか？

extracurricular activities

学部学生の約85%が参加経験をもつ

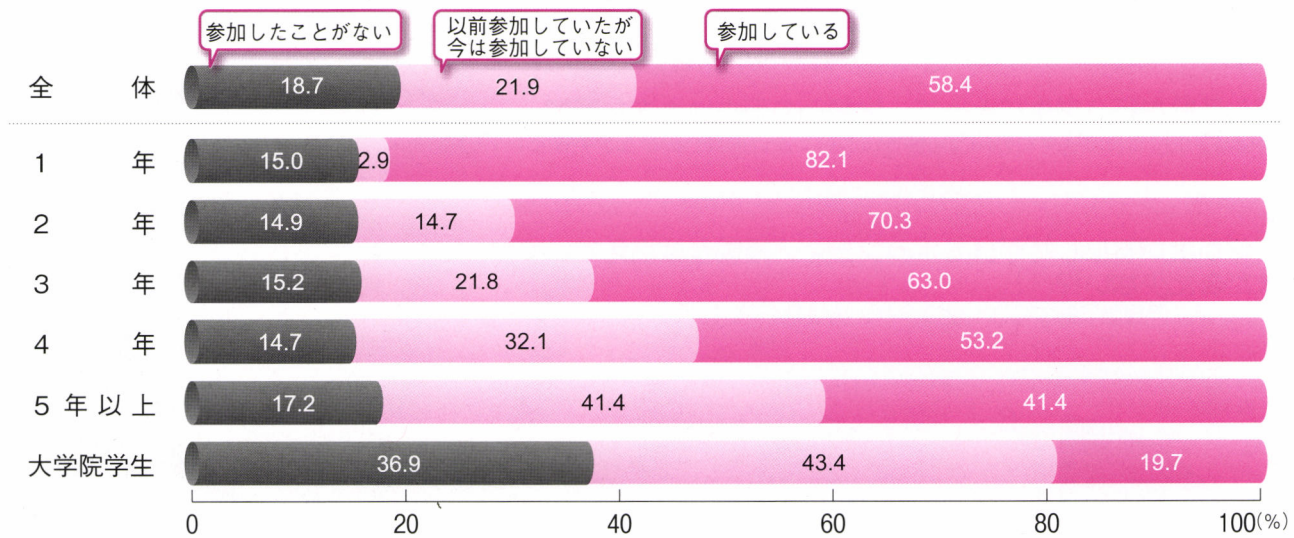


課外活動への参加状況

POINT 参加している課外活動団体のジャンルは、勉強している学問分野や希望する卒業後の進路との近接性を示している

課外活動には、学年を問わず、学部学生の約85%が参加経験を持っています。学年が上がるにつれて、今現在参加している学生の割合が減っていく傾向が、以前と同様に見られました。意外に多いと感じられたのは、大学院生の課外活動の参加経験ですが、これは大学院生の課外活動が活発であるというよりも、学部学生時代からの関わりが表れていると見るべきと思われます。

現在、体育各部サークル活動（学内外不問）等、何らかの課外活動に参加していますか？ 学年別

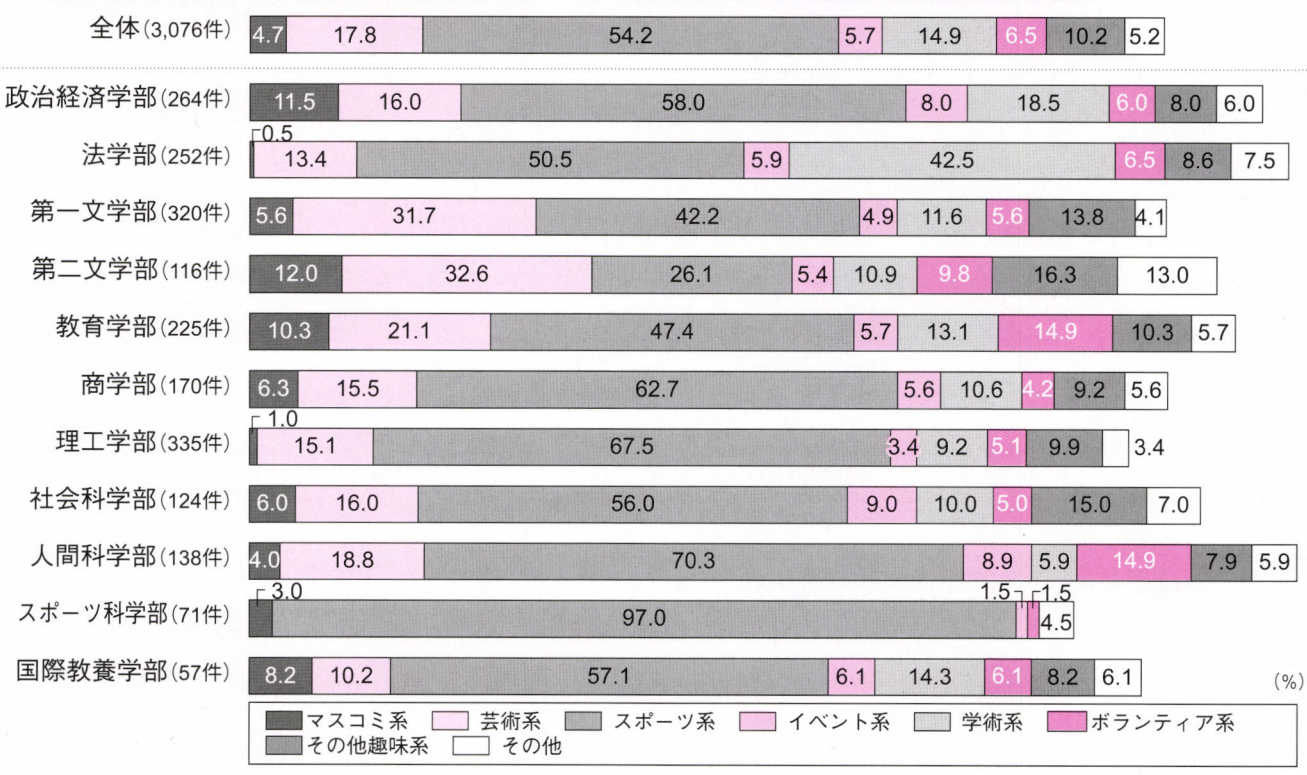


学部別で参加している課外活動のジャンルを見てみると、各学部で勉強する内容との近接する関係性が見てとれます。スポーツ科学部の学生の課外活動への参加率は高く、そのほとんどが「スポーツ系」の課外活動団体でありますし、「マスコミ系」の課外活動団体は、政治経済学部、第二文学部、教育学部に参加率が高いといった特徴も分かります。それに対して、法学部においては「マスコミ系」の課外活動への参加率が低く、逆に「学術系」の課外活動への参加率が高いのは、司法試験や公務員試験などの勉強と課外活動とが密接に結びついていることが予想されるでしょう。こうした進路と課外活動との関わりは、「マスコミ系」、「スポーツ系」、「イベント系」の課外活動への参加者を中心に、民間企業への就職希望者が多いところに見てとることができました。理工学部の「学術系」の課外活動への参加率が低いのは、理工学部の学問内容に近接する課外活動団体は、「学術系」というよりも「趣味系」に分類されることが多いことが影響しているのかもしれません。「ボランティア系」は、教育学部、人間科学部において高い参加率を示しているのは、やはり学問との近接する関係性が想像されます。国際教養学部の学生の課外活動への参加の低調さが目立ちますが、学部設立２年目の同学部がキャンパスの中で、他学部の学生とは「独自の道」を歩もうとしていることを示すものでありましょうか。

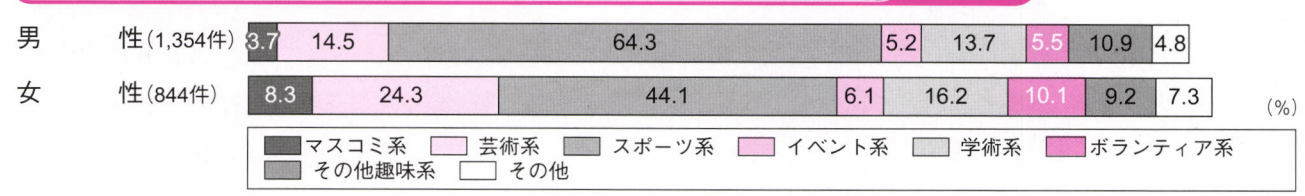
また、性別でみると、男性は「スポーツ系」の課外活動への参加者が参加者全体の６割以上を占めるのに対して、女性は「スポーツ系」だけでなく各ジャンルに広がっており、「マスコミ系」、「芸術系」、「ボランティア系」に関しては、実数としては男性より多いのが目立っていました。

現在、体育各部サークル活動（学内外不問）等、何らかの課外活動に参加していますか？ 所属箇所別

現在参加している課外活動はどのようなジャンルですか？［複数選択可］ 所属箇所別



現在参加している課外活動はどのようなジャンルですか？［複数選択可］ 男女別



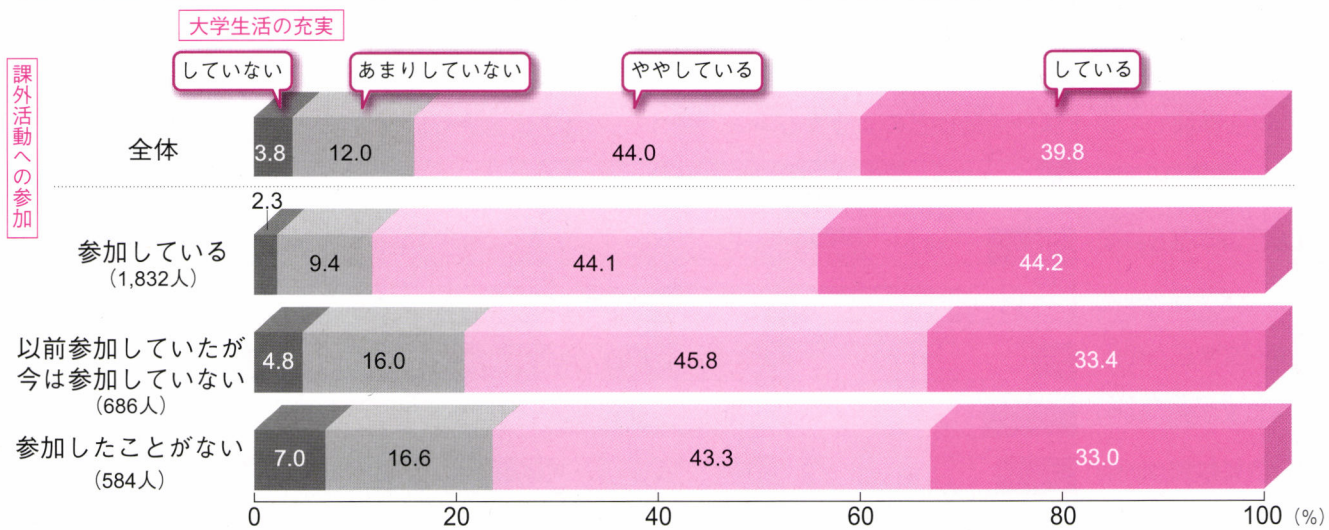
課外活動の経験は学生生活の充実度や大学への愛着度と結びつく

課外活動と学生生活

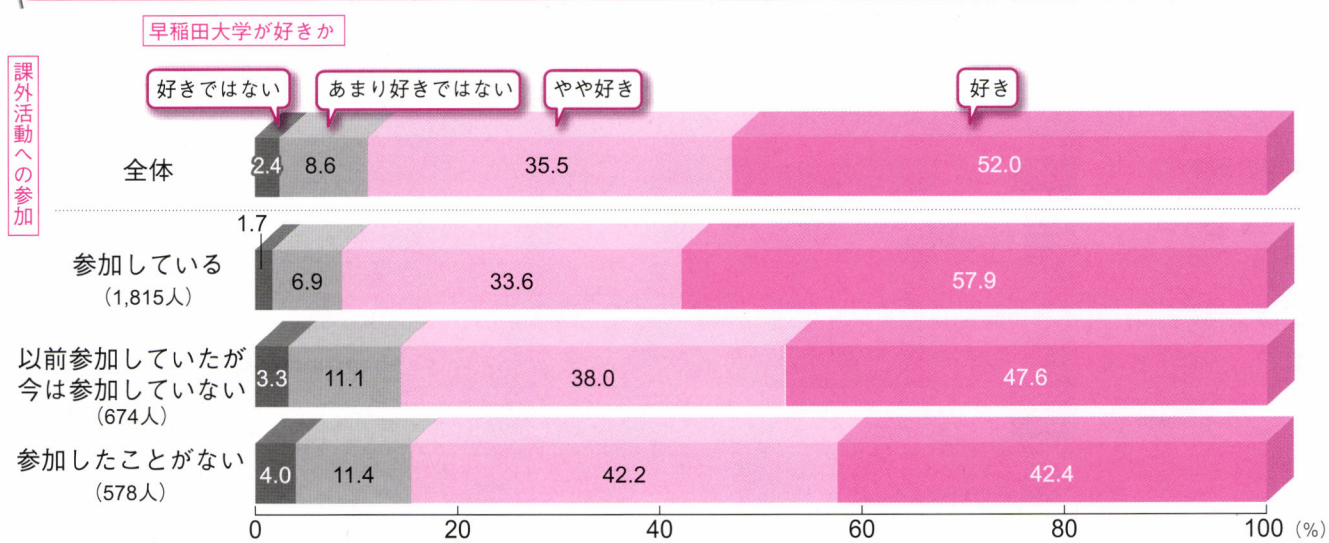
POINT 課外活動への参加者は、相対的に授業への関心が薄くなる傾向にある

課外活動への参加と学生生活の充実度や大学への愛着度は、密接に結び付いているようです。現在、課外活動団体に参加している学部学生の学生生活の充実度は、課外活動に参加したことのない学部学生の学生生活の充実度に比べて高く、大学への愛着度も高い傾向が見られます。また、学生生活が充実している理由として、学業に関する項目と並んで、課外活動が多く挙げられていますし、人間関係の充実を理由として挙げる学生も、その人間関係の中身として課外活動における人間関係に依っていることが予想されましょう。

クロス集計 現在、体育各部サークル活動（学内外不問）等、何らかの課外活動に参加していますか？
／凡例 大学生活は充実していると思いますか？

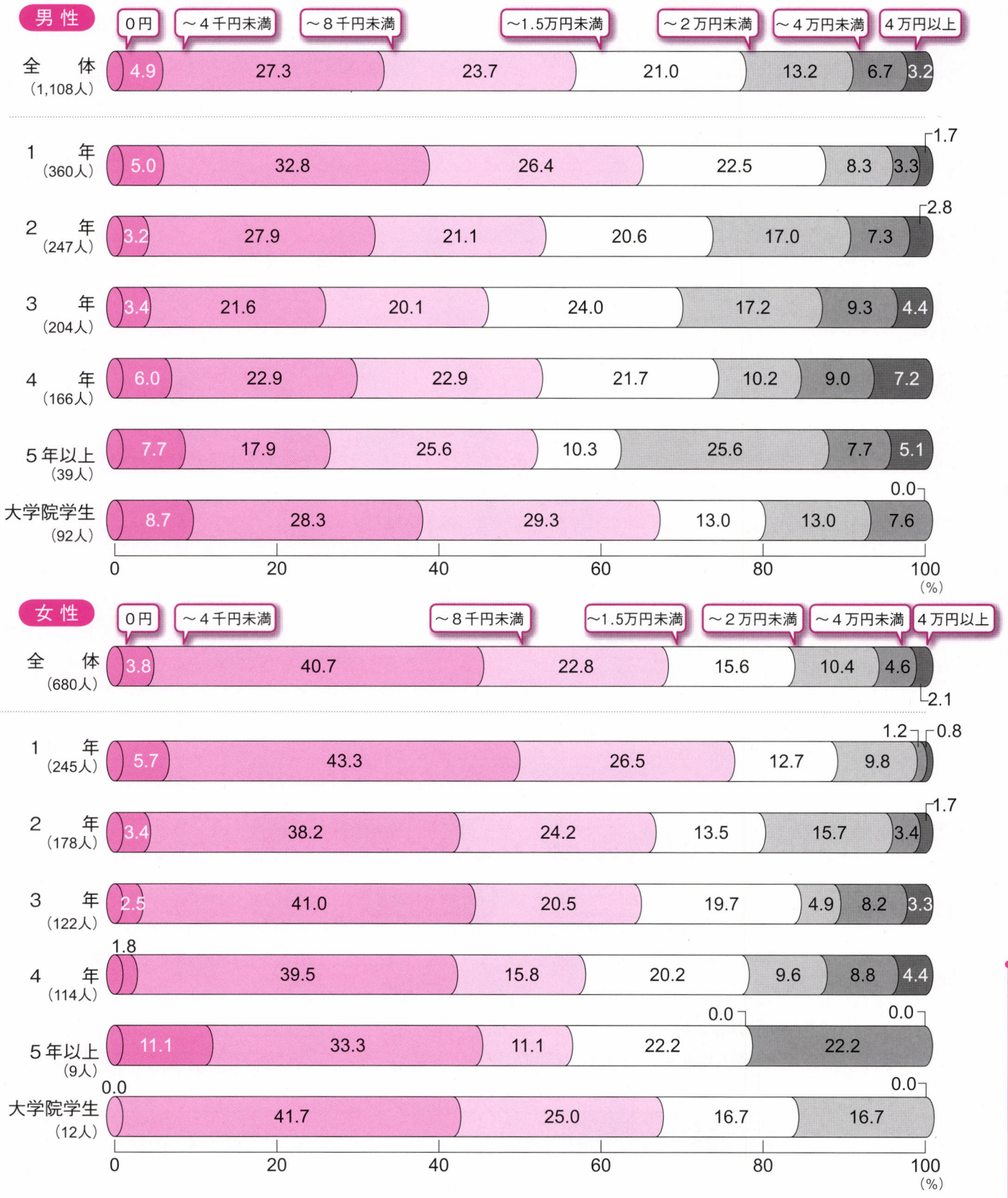


クロス集計 現在、体育各部サークル活動（学内外不問）等、何らかの課外活動に参加していますか？
／凡例 早稲田大学が好きですか？



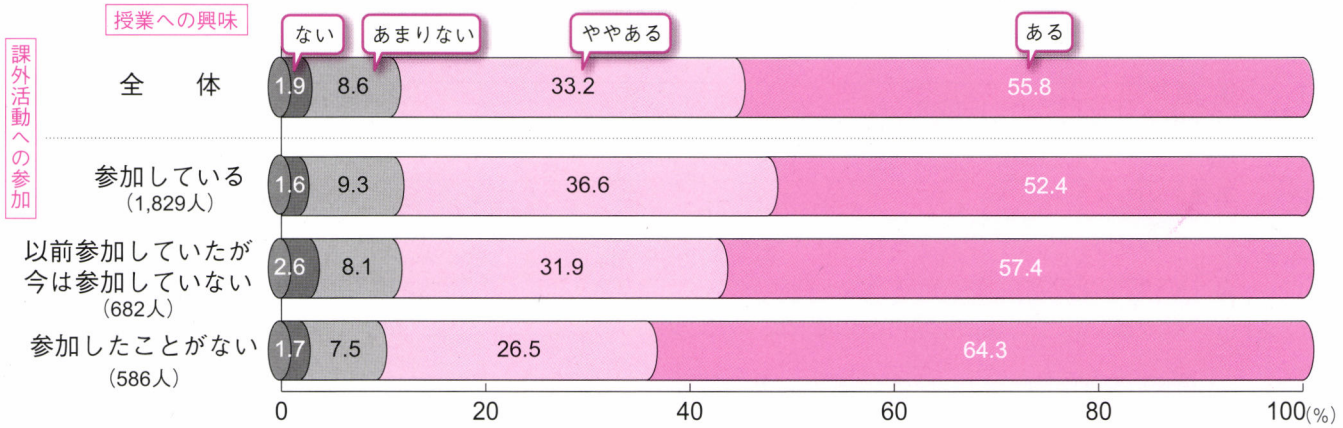
課外活動にかかる費用は、女性よりも男性の方が、また学年が上がるにしたがって次第に増える傾向にあるようです。男性の場合、３年生がピークなのは、課外活動で中心的に活躍する時期であり、費用もかかるためではないでしょうか。女性の場合、２年生以上において「4千円未満」の学生の割合はあまり変わりませんが、「1.5万円以上」とする学生が学年が上がるほど多くなっていくことは、女性の課外活動への関わり方と何らかの関連がありそうです。

自費で出費する課外活動費は月平均いくらくらいですか（でしたか）？　学年別

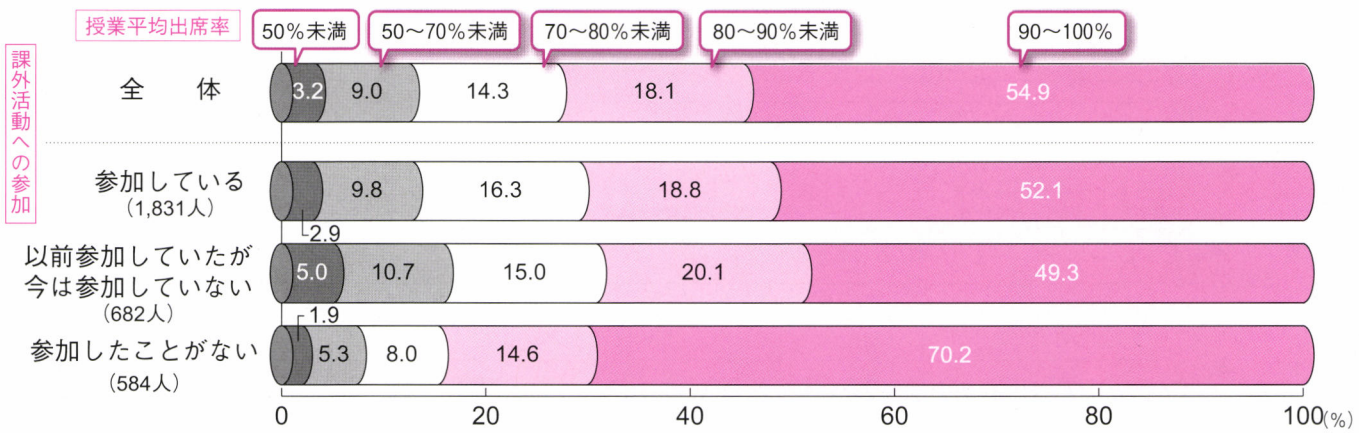


しかしながら、課外活動への参加はまた、学業との関係において微妙な陰を落としているようにも思われます。すなわち、課外活動への参加は、「大学の授業への関心」、「授業への出席率」、「授業の満足度」のいずれにおいても負の相関を示しています。これは、課外活動に参加している学生が、関心領域が広く趣味が多彩である一方で、相対的に授業への関心が薄くなっていることを示すものでしょう。しかし、授業への関心の低下は、課外活動に没頭してしまい、学業に身が入らないという事態を招きかねません。そうしたところにおいて、次の項目となる課外活動と学業との両立の問題が出てきます。

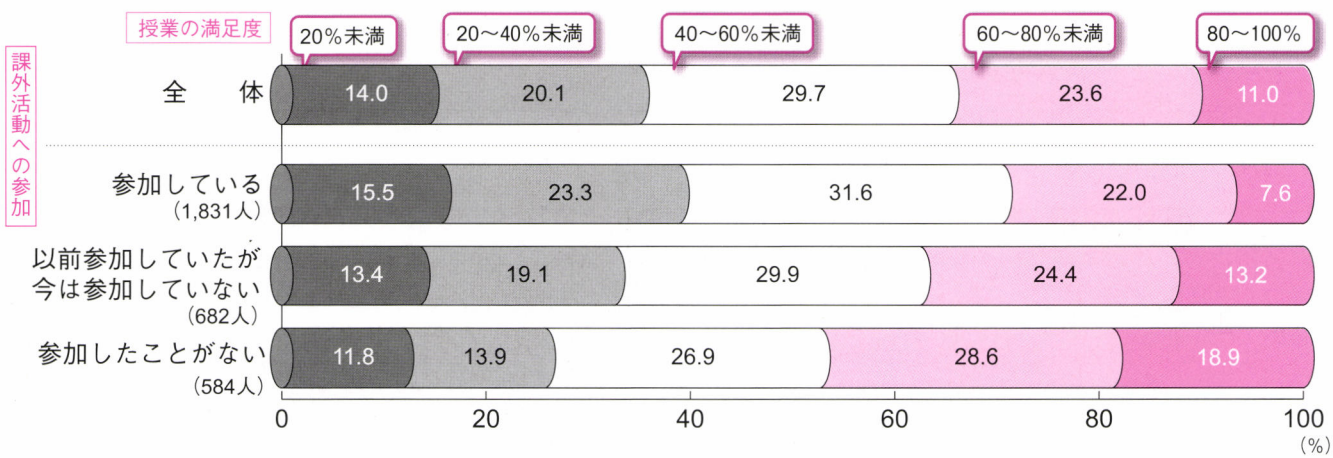
クロス集計 現在、体育各部・サークル活動（学内外不問）等、何らかの課外活動に参加していますか？
／凡例 大学の授業に興味がありますか？



クロス集計 現在、体育各部・サークル活動（学内外不問）等、何らかの課外活動に参加していますか？
／凡例 あなたのこれまでの授業平均出席率はどれくらいですか？



クロス集計 現在、体育各部・サークル活動（学内外不問）等、何らかの課外活動に参加していますか？
／凡例 今あなたが取っている授業の中で満足するものはどれくらいありますか？



課外活動を行う学生にとって、学業との両立は大きな課題

課外活動と学業との両立／
課外活動に参加しない理由

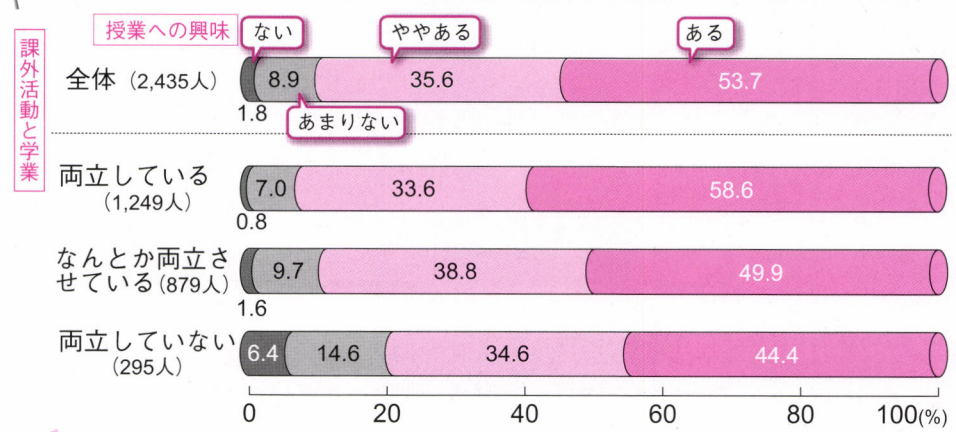
POINT

多くの学生にとって学業との両立可能性において
課外活動への参加が判断されている

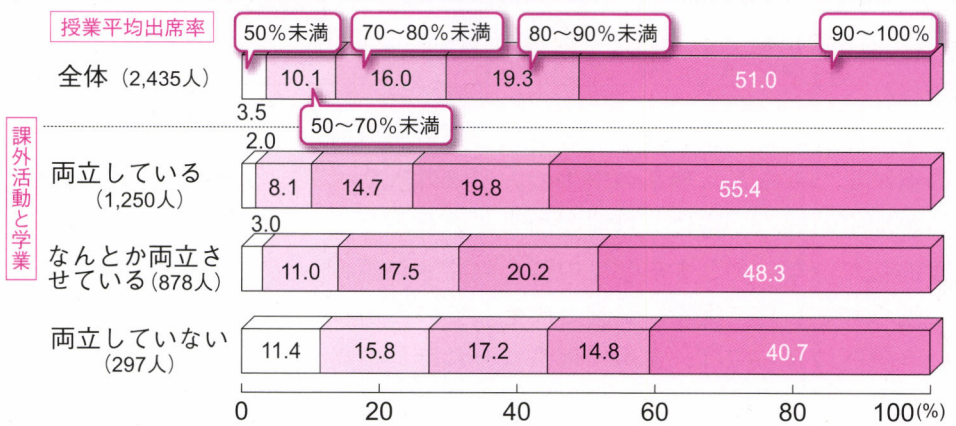
学業と課外活動の両立がうまくいっていないとする学生は、「大学の授業への興味」、「授業への出席率」、「授業への満足度」が相対的に低い傾向にあります。それでもなお、課外活動との両立をさせていない学生の中で、８割近くが授業への関心を示し、４割以上が「出席率９割」を超えるのは、そもそも大学に興味のない学生は、本調査に回答していないことが影響している可能性も考えなければなりません。

先に見たように、学生生活にとって、課外活動は、学業と並んで学生生活の大きな柱となっていることがうかがわれます。しかしながら、課外活動への参加は、一部の学生にとっては学生生活の充実度を損なわせる結果となっています。課外活動と学業との両立がうまくいっていないとする学生の中には、学生生活が充実していないというが学生が約３分の１を占めており、課外活動と学業との両立に悩む学生の存在が浮かび上がってきます（次頁グラフ参照）。

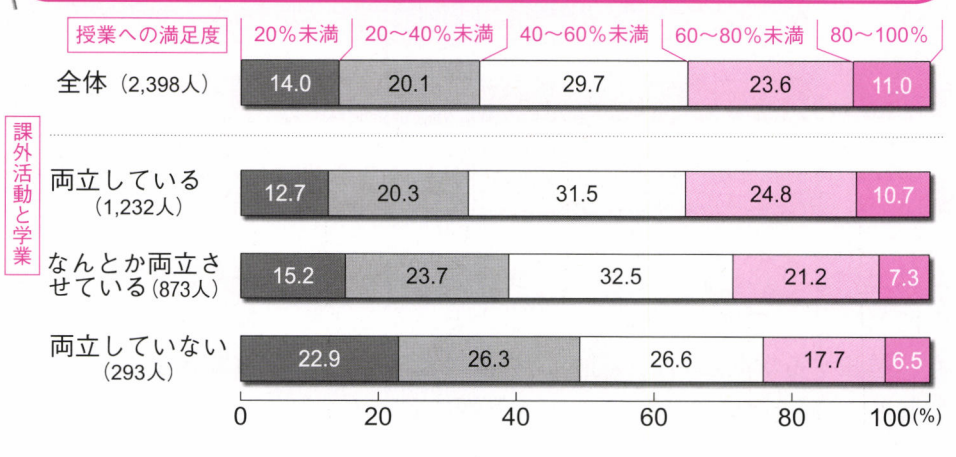
クロス集計　体育各部・サークル活動と学業は両立していますか（いましたか）？
／凡例 大学の授業に興味がありますか？



クロス集計　体育各部・サークル活動と学業は両立していますか（いましたか）？
／凡例 あなたのこれまでの授業平均出席率はどれくらいですか？

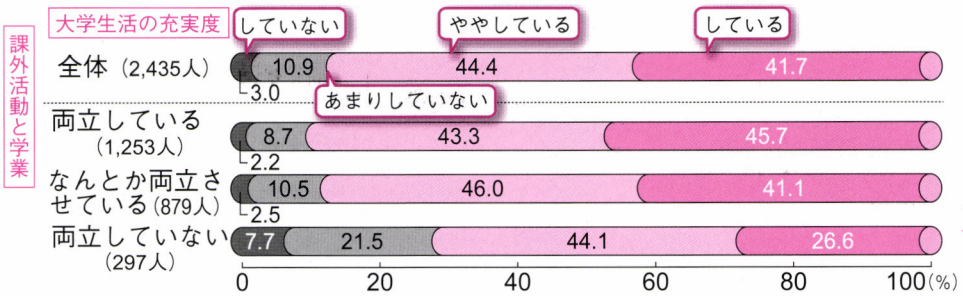


クロス集計　体育各部・サークル活動と学業は両立していますか（いましたか）？
／凡例 今あなたが取っている授業の中で満足するものはどれくらいありますか？

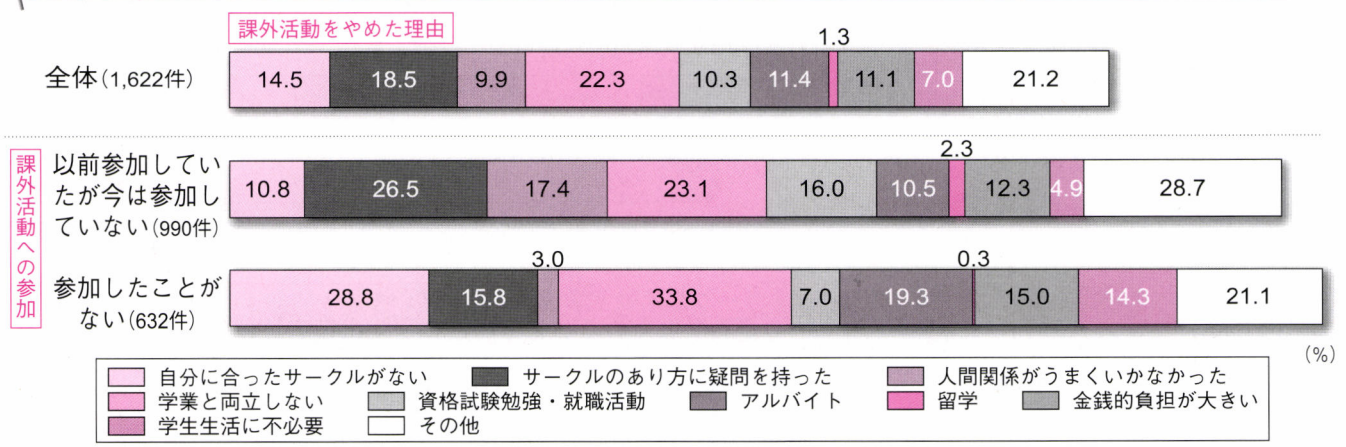


こうした課外活動と学業の両立に悩む学生の実数は少ないものの、その背後には、課外活動への参加を躊躇したり、次第に課外活動から足が遠のいたり、といったことが相当数、起きていることが予想されます。実際に課外活動をやめたり、はじめから参加しない理由として、「学業との両立」をあげる学生は、前者の23.1%、後者の33.8%を占めており、特に社会人学生や、留学生においては、課外活動に参加しない理由として顕著に見られました。

クロス集計　体育各部・サークル活動と学業は両立していますか（いましたか）？
／凡例 大学生活は充実していると思いますか？

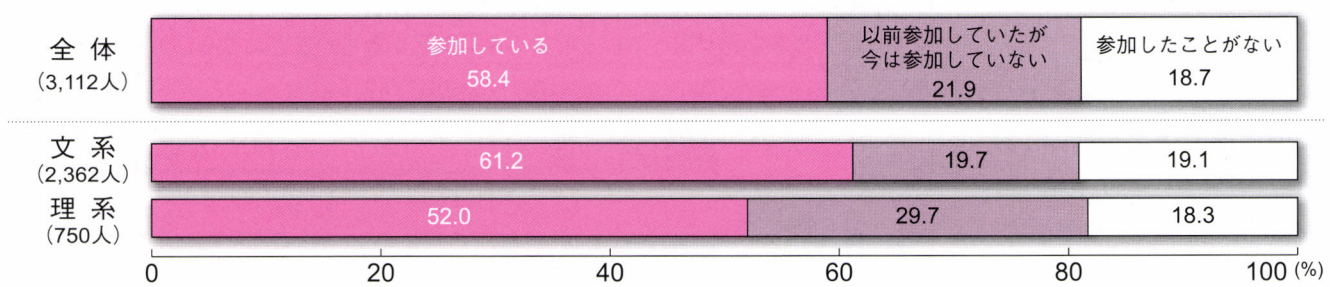


クロス集計　現在、体育各部サークル活動（学内外不問）等、何らかの課外活動に参加していますか？
／凡例 部サークルを途中でやめた、または参加しない主な理由は？［複数選択可］



また課外活動に参加している学生を文系・理系の別に見てみると、理系の学生の方が課外活動への参加率が低く、特に「以前参加していたが今は参加していない」とする学生の割合の高さが顕著に見られました。実際に学業と両立しているかという設問に対しては、文系・理系でそれほどの高い相関は見られませんでしたので、理系の学生の方が課外活動との両立に苦労しているというよりも、両立ができなくなる以前に課外活動への参加を取りやめているというのが実態ではないかと思われます。

現在、体育各部サークル活動（学内外不問）等、何らかの課外活動に参加していますか？　文系・理系別



以上のように、課外活動への参加は、学業との関係において両立しているかどうかというよりも、勉強する学問との近接性や、将来の進路との関わりや、両立できるかどうかの可能性において、多くの学生があらかじめ課外活動に参加する／し続けるか否かの選択を行っている姿が浮かび上がってきます。

学年が上がるにしたがってボランティア経験者は増えていくが、まだまだ少ない?!

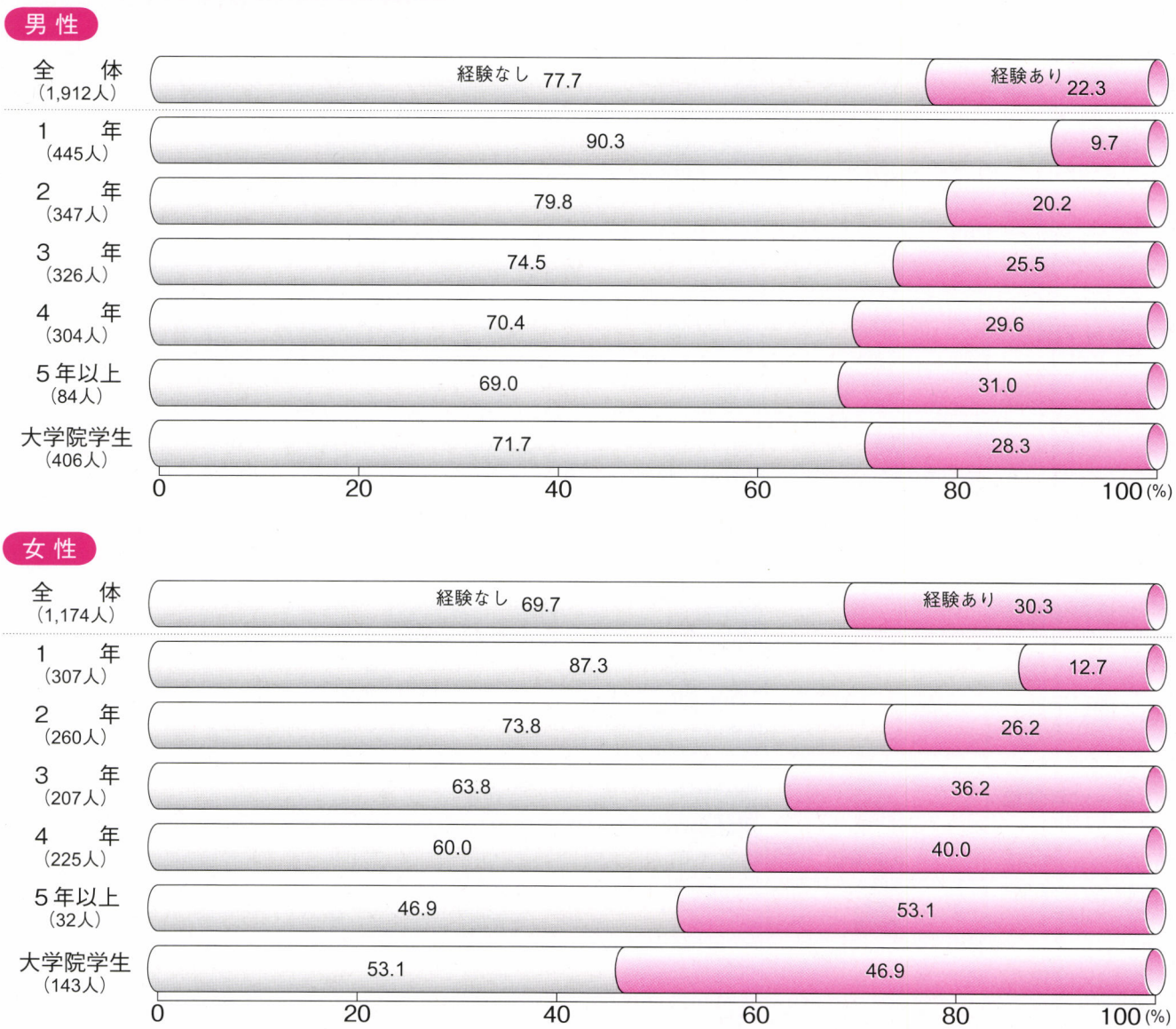
早大生のボランティア事情

POINT

ボランティア経験をもつのは
女性で**3割**、男性で**2割**

さて、早大生のボランティア事情は、次のようになっています。

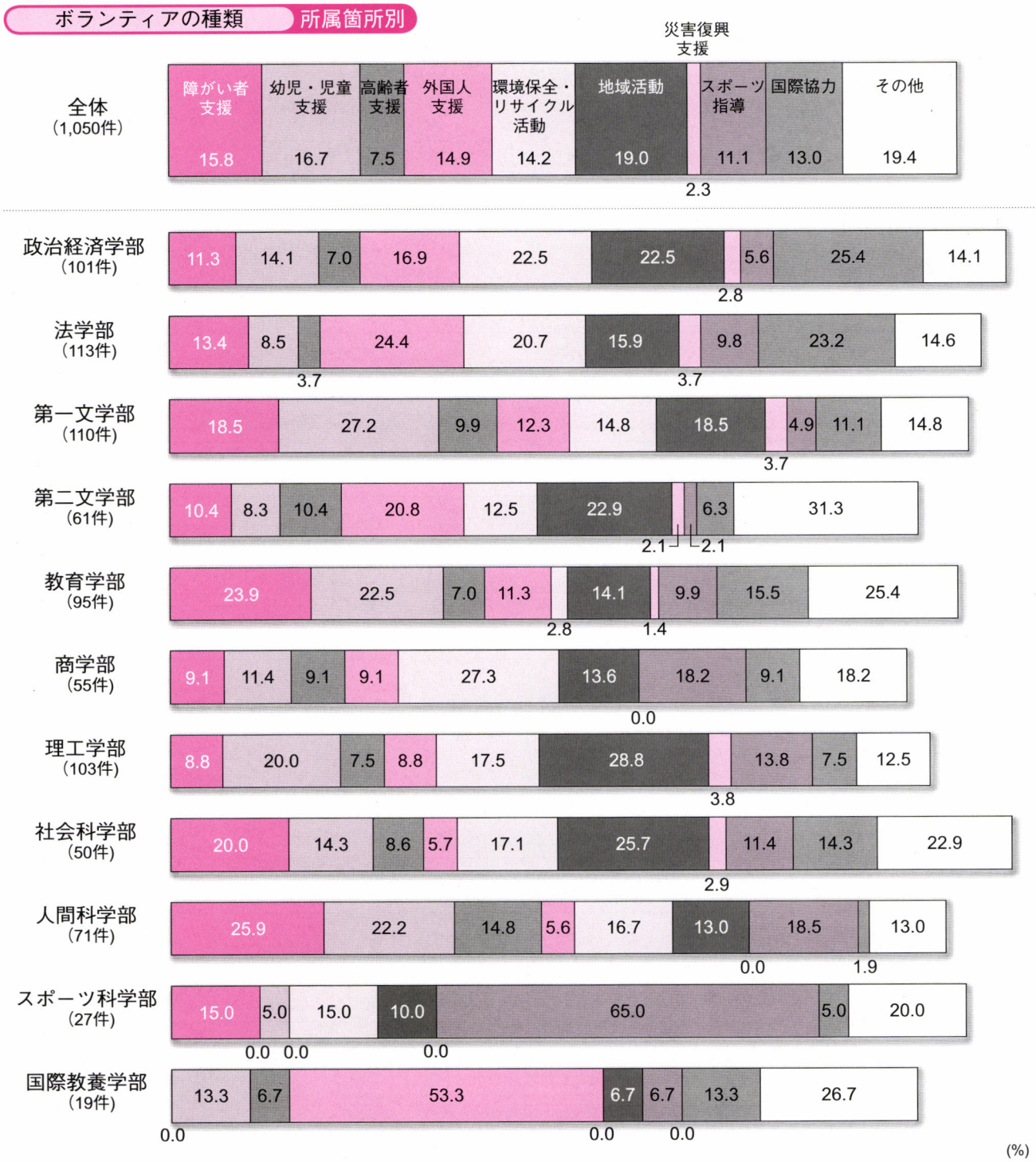
ボランティア経験の有無　学年別



ボランティア経験を持つのは女性で3割、男性では2割程度に過ぎません。学年が上がるにしたがって経験者が増え、女性の方が男性よりもボランティア経験が増える傾向にありますが、その内実はボランティア活動の種類を見てみると、課外活動との関係や、勉強している学問分野との関係がありそうです（次頁グラフ参照）。このことは、特にスポーツ科学部の「スポーツ指導」、国際教養学部の「外国人支援」、教育学部や人間科学部の「障がい者支援」、「幼児・児童支援」に経験者が多いという特徴に見受けられます。

次に、男女別に見てみると、男性は、「スポーツ指導」にやや偏りがみられるのに対して、女性は「障がい者支援」、「幼児・児童支援」のほか、「外国人支援」、「国際協力」の項目において、経験者の実数が男性を上回っていました。

ボランティアの種類　所属箇所別



ボランティアの種類　男女別